

第19回二宮町議会基本条例推進委員会次第

平成28年5月24日(火)
9時30分～
第1委員会室

議 題

1. 第7回議会報告会・意見交換会について

意見交換会「平成28年4月24日 ラディアソMR2」要約

テーマ A：東大跡地活用 11名 B：地域包括ケアシステム 8名 C：予算全般 7名 計 26名

【東大果樹園跡地活用について】

要約：

将来を見据えた魅力的な町づくりに利活用すべきである。具体的には跡地の自然を生かした子どもから高齢者まで楽しめる交流の場となるような公園、またその公園を災害時の防災の拠点とする、更には一部を高齢化の進展を考慮して介護施設を建設する等のアイデアが出された。利活用の基本的な考え方や具体的なアイデアだけでなく、其々のアイデアの利点や課題も出た。

以下に具体的な議論と出されたアイデアを記す。

各意見

- B地区とC地区は分けて利用すると良い（例えばB地区を防災公園、C地区を介護施設など）。
- 将来を起点に考え、どう利用するか議論すべき。
- 若い人に魅力的な活用方法。
- テーマを絞って進めることで議論が深まる。
- 現状の整備をどうするか、ボランティア任せでは良くない。
- 植物豊富で安全に遊べる場所。
- 子どもから高齢者まで互いに交流できる場所。
- 子どもの遊び場、公園（自然遊び）。
- 建物を造るのは現実的でなく、自然を残した公園。
- 自然を残す、たとえば竹林、里山。
- 歴史ある建物も残し利用可能とする（耐震化）。
- 災害時に車で行ける避難所。
- 自然を残した防災公園。
- 里山と防災公園。
- 介護施設（C地区）。

【地域包括ケアシステムについて】

要約：

地域包括ケアシステムそのものが分かりにくく、ケア自体も、地区で何をどうすべきなのかはつきりせずまずはマニュアルを作成すべき。そして、地域福祉計画に意見したり、専門家の意見も取り入れながら、町にふさわしい計画を立てるべきである。それにより「誰が、何をするのか？」が明確になる。

・福祉に関係しないかもしれないが、防災をどうするのか。町の情報提供の足りなさを感じる。

各意見

- 地域サロンを開設するにあたってはよく理解したい。現在と今後の説明をして欲しい。
- 在宅医療と称して地域に面倒をみさせようというのが目的。良いことばかりで、言いにくいことを隠している節がある。
- 3者（町、議員、町民）がどう連携を取っていくのか。誰が何をやるのか、きちんとしたマニュアルを作って欲しい。いい話ばかりしていても分からない。
- 井戸のある家を調べ、飲めるかどうか確認して欲しい。

- 地域での役割、誰が担うか、自分が何をやるかということが大切だが、自助が一番。自分たちの町のためであれば、自分も頑張らなければならない。防災を含めて考える。
- マニュアルづくりは、地域にふさわしいマニュアルを作れるかは疑念を感じる。
- 民生委員、社協、町内会、自治会、医師会等関係者が集まって仕組みを作るべきで、地域にふさわしいものにしてもらいたい。
- 地域によりかなり違いがでる。アンケートは誘導される、専門家は平均化したもの、町にフィットさせるのであれば、やはり町職員が提案していかないと二宮バージョンにならない。
- マニュアルづくりは、地域にふさわしいマニュアルを作れるかは疑念を感じる。
- 民生委員、社協、町内会、自治会、医師会等で協議してもらえばいいのではないか。どういうつながりで運営していくのか。国は金を出さない、地域のボランティアでやってくれというのが本音なのだからそれに叶う仕組みを作るしかない。関係者が集まって、国のいうことが本当に私らにフィットしているのか。その、各地域にふさわしいものに。
- 町も吾妻山の南と北では状況が異なり、地域から意見をあげないと良い仕組みはできない。まだまだ情報不足であり定期的な説明会、勉強会が必要。
- 地域包括ケアそのものがまだまだ分からず、2つも3つも上の話で難しい。
- 医療と介護、下手すると防災や保育も入ってくるから理解しにくいものとなる。整理して考えよ。
- 老人会では友愛チームが安否確認等している。
- 行政サービス全体の見直しが必要。

【平成 28 年度予算等について】

要約：

一色小学校区地域再生協議会については大変重要な位置づけと捉えるが、全く見えず不安。議会は、この一年の動きをしっかりと把握、追求していくべきであり、その進捗を町民に都度説明する必要がある！また、下水道料金値上げについては、料金改定の理由をきちんと説明せよ。

各意見：一色小学校区地域再生

- 急に出てきた補助金（地域再生事業）は何に使われるのか分からない。
- アドバイザーにお金が出るだけで何も残らない、そのようなことにならないように。
- 今年度の単年度補助金だが今後どうするか不安あり。
- 職員が右往左往するだけではないか、しっかりと計画で身長させるべき。
- 村田町長の目玉であるまさに地域再生、進まなければ村田町政は終わる。
- 具体的に何がどう進むのか見えず不安であり、しっかりと示すべき。
- 地域再生のそもそもの目標が分からず。公社住宅が再生されるならそれで良いのではないか。
- 議会も大丈夫だろうか？と不安に思っているはず。しっかりと追求すべき。
- 補助金申請前から議員も入って検討がなされていたならば良かったが、今後が心配。
- 生活を地域の住民に考えて欲しいとは、行政は無責任すぎる。
- 協議会の位置づけが分からない。町は見てるだけで何もしないと捉える。不満あり。

：下水道料金値上げについて

- 一般会計からの繰り入れは今後しない方向と理解するが、それが単純に値上げでは困る。
- 今後まだ上がる可能性があるようだが、計画があればきちんと示すべき。
- 使用料収入でまかなえるのかそもそも疑問をもつ。
- 酒匂川、相模川流域で負担額が異なるのはなぜか、同じ県民としてきちんとした説明が欲しい。

意見交換会「平成 28 年 4 月 26 日 一色防災コミュニティセンター」要約

テーマ A：東大跡地活用 9 名 B：地域包括ケアシステム 9 名 C：予算全般 6 名 計 24 名

【東大果樹園跡地活用について】

要約：

二宮小学校や役場庁舎等公共施設の跡地への移設案が出され、またそれに伴い学校統合や経済効果についても議論される。その他自然の中の遊び場等の利活用案も出された。現在 B 地区の 8,000m²が野球場として暫定利用されているが、その使用状況が借地責任者から説明された。

各意見：

<公共施設再配置に利活用>

- 町の将来を見据えて利活用、たとえば二宮小学校（等）の移転もあり得る。
- 町の庁舎を移転、高台にあり交通不便で利用しにくい。
- 学校統合は考えるべき。
- 学校を統合して利用するには狭いのではないか。

<子どもの遊び場>

- 将来を担う子どものための自然の中での遊び場、定住促進にもなるし、現在流行っている。
- 野球場として整備する。二宮には野球場はなく、町の魅力アップにもつながる。

<観光、町財政力アップ>

- 財政を潤す利活用を考えて欲しい。
- 小学校移転、庁舎移転も駅前優良地の活用となる。
- 東大跡地は町の真中にあり、道の駅的な使い方も観光、商業として期待できる。
- 施設をつくり使用料、入場料等を徴収しても収入は限られるため、無料で皆が楽しめる施設が良い。

<その他>

- 長期的に考え、マンション等の建設。
- 一括ではなく、分割した利活用も考えられる。

【地域包括ケアシステムについて】

要約：

地区が主体となって進めていくおぼろげな認識は共有するものの、制度そのものが分からず専門的指導、みんなが理解できる説明を行うべき。個人情報への壁、隣近所の疎遠、認知症増加などに加え、財政的支援も考えて欲しい。

各意見：

- 介護保険についての説明は、時間をたっぷりかけてやるべき。短時間でやるべきではない。
- 町独自で改正できる部分はどこなのか理解したい。
- 福祉は社協がやればよいではなく、地域が相互に福祉サービス、資源を学び合うことが必要。
- 最近では隣近所の連携が薄い。それぞれの議員が得意分野を地域で説明するのも良い。
- 役場も組織を立ち上げたが、個人情報の点からしても隣近所で支えあうのも難しい。町と議会がこういうことだ。と説明するべき。
- 個人情報に邪魔がいて、隣近所で助け合えと言われてもできない。
- 個人情報をとっぱらわないと家に何人いるかもわからず出来ない。

- 地域防災と情報を共有すれば、子どもが何人、高齢者がいるかいないかなど把握できる。
- 特に自治会に入っていない人が把握ができないが、何かあれば最初に文句を言う。新興住宅地は個人情報扱いを柔軟にしないとうまくいかない。
- 町内会に入らない人も多く、その傾向も高くなってきているなか、どう進められるのか疑問。
- 国が進める施策であるなら国が予算化するべき。
- 現在緑が丘と一色はほぼ別。ともに充実させる必要がある。
- 町民、地域の住民みんなが同じレベルで理解できるよう説明の場を作って欲しい。
- 短期間で進めようとするのは無理がある。
-

【平成 28 年度予算等について】

要約：

総合計画、総合戦略を国に言われて作成するのは良いが、絵に描いた餅とならないようにしっかりとした議論、町民への説明が必要、合わせて今後の財政状況もきちんと示すべき。

各意見：

- 総合戦略、総合計画にのっとりた予算というが、詳細が理解できない。
- 言葉はきれいだが、お金なくして事業は進まず、計画の達成はできないと思う。
- 本当の財布の中身が分からないし、予算の再分配を検討すべき。町民としては応援する。
- 将来に向けてこの町がどうなるのか見えず不安が多い。
- 町民の意見を議員も強く意見すべき。
- 町長への意見だけではなく、議会からの提案も重要である。
- 一般予算、特別会計の中身をもっと知りたい。
- 総合戦略、計画にのっとりた予算をたてたと思うがその詳細事業が見えない。
- 戦略会議では詳細に意見が出たが、最終的には抽象的な文言となってしまっている。
- 総合戦略と、総合計画の違いが分からない。結局どうやって人口を増やすのか分からない。
- 予算がないのに安心して住みやすい町は出来ない。
- 計画も、戦略も絵に描いた餅であり、20年後は無くなってしまわないかと心配する。
- 計画も戦略も最終的には予算執行により進められると思うが、言葉だけで終わりそうである。
- 計画も戦略も町民は現実をみて不安に思っているのに、言葉きれいに作られているだけ。
- 前回報告会の公共施設再配置計画に対する研究グラフが大変分かり易く良かった。
- 具体的に財布の中が見えないなか、何とか頑張ります。みたいな程度に感じる。
- これ以上町民に何をさせようとしているのか不満。
- 10年後の経営計画を立てる企業みたいに財政計画をきちんと示すべき。
- 金が無いというが、予算の再分配を考えるべき。
- 知恵を出さないといつまでも同じ、中途半端で結果は出ない。
- 財政難のなか自らも動こうとしている。地域もやろうと思っている。(
- 資材は出すけど、作業は町民、地域住民がやっている、やろうと思っている。
- 総合計画で目指している地域活性化と、健全な財政の町となるための裏付けを議論して欲しい。

意見交換会「平成 28 年 4 月 28 日 山西防災コミュニティーセンター」要約

テーマ A：東大跡地活用 3 名 B：地域包括ケアシステム 5 名 C：予算全般 1 名 計 9 名

【東大果樹園跡地活用について】

要約：

利活用の基本的な考え方とともに具体的な案が出された。一つは町全体を考え、長期的な視野に立ち、人口減少や高齢化等を考慮し、公共施設の再配置計画の中で利活用する。たとえば、学校統合や公共施設を複合化統合で跡地に移設する。二つ目は人口減少緩和に向け自然を生かした交流の場とし、子育て層にアピールし定住促進を図る。経費が比較的掛からず財政面からも良い。

町全体を考え、更には人口ビジョンや団塊世代が後期高齢者となる 2025 年等長期的視野で利活用を考える。しかし、財源確保ができるか。

各意見：

<公共施設再配置に利用>

- 学童は減少傾向であり学校統合を行う。
- 公共施設の複合再配置、集約化を図る。
- 広域避難場所の老朽化も考慮すると防災に則した使い勝手が望ましい。
- 公民館、ラヂアンもあるため類似の新たな施設はいらない。

二宮町の良さは東京近郊であるにもかかわらず自然が残り、小さい町なので人と人との温かいつながりを感じることができる。

<自然を残した里山風景のある場として利用>

- 子育ての若い人への定住促進となる。
- 自転車で行ける平らな所なので、一部でも良いから自然を残した子どもの遊び場にしたい。
- 建物の耐震には経費が掛かるが、子ども、高齢者、障がいを持つ人などの交流の場としたい。
- 定住促進には情報発信が効果的であり、SNS等で自然のある安心な子育て環境をアピールする。

<その他>

- とまるところが無いので宿泊施設になると良い。
- 総合病院を誘致する。
- 民間を活用する。

【地域包括ケアシステムについて】

要約：

地域包括ケアシステムは理想的だが担い手不足。サポーター養成だけでなく、活躍出来るよう支援が必要であり、個人情報保護という障壁も解消しなければならない。地域コミュニティーも顔を合わせる人は決まっており、出せる人もまだ良い。医者も少なく交通網も弱い山西地区では、小児病院跡地にでも医療モールが出来ると嬉しい。

各意見：

- 理想論にすぎない。他人事のようなことを言うてはいけない。すでに老々介護である。
- 二宮ではミニデイサービス、サロンなど既に行っている。

- 福祉ネットワークとして買い物などの手伝いは既に行っている。それを少し膨らませて支えていくと考えれば良いのではないか。
- 百合が丘ゆめクラブは日を決めて訪問するなど活動をしている。地区社協もサポートして下さる方が率先して活躍している。
- ふれあいサロン、ミニデイサービスなど利用される方も、手伝いされる方も固定化されてしまっており義務化されている。形骸化させずいかに活性化させるかが課題、責任、賠償などにより気持ちはあるがブレーキがかかるのも事実である。
- 個人主義の弊害がここに出ている。昔は周りとの助け合いがあったが、今は子どもも大人も一緒にプライバシーを重んじ。命さえ守れなくなっているのが現状。
- 自分がボケないようにしなければならない。健康でコロッと行けば迷惑かけないし、ボケて長生きするのが問題。認知症の予防について研究をすることの大事。
- 医療に関しては非常に不便で厳しい。小児病院跡地が医療モールになればよいと期待している。
- 高齢社会は車がないと大変で、タクシーなど補助も重要だ。
- ミニデイや会合に出てくる人は決まっていて、来れる人はまだ健康。外出させることでボケや各種症状が防止できると考える。
- 様々な方が認知症サポーターの講習を受講して欲しい。
- 各種システムに乗っている人は良いが、そうでない方のケアが重要。
- 隣人がどうにかなったときは助けてあげたいが、何かあったら思うと手が出せない。隣人を愛する付き合いができれば素晴らしい町になるだろう。
- 現在は病院から家庭へとなっている。家庭でみるのは大変であり、特に認知症は、問題を解決してあげる、絶対に怒らない、など介護する人の学習が必要。
- 包括ケアのサポーターとして、認知症になりそうな人を民生児童委員の方など地域の方が積極的に巡回してつなげていく。情報も伝わるだろうし外出するきっかけになると思う。日頃から積極的にそういう関係性を作っておくことが必要。
- 認知症サポーター講座を受けても実践しなければ意味がない。
- 普段歩かず外出も避けていた人も、引っ張り出し出かけたなら歩けるようになった。
- お年よりはアクアのような施設で機能回復に取り組むのが良い。
- 体育館には色々な設備があるが、指導者がいないため利用できない。
- 民間活用として総合病院を誘致出来ないものかと思う。

【平成 28 年度予算等について】

要約：

予算をもっと縮小して選択と集中を行うべき。そのためにも広域での事業展開が更に必要となってくる。未利用地である小児病院跡地については当時の契約内容を確認し、何なら可能なのかまずは示すべき。

各意見：

- 水中ウォーキングは大変良い、特にジャグジーは人気。
- 今後 10 年の財政見通し、人口減少しながら減らない予算を検証するべき。
- 交付金たよりの予算編成では良くない。
- 費用対効果として、山西プールが温水であったら年間通し利用できるという考えもある。
- 高齢化率が更に高くなり、人件費も含みその部分の予算が増えるのが心配。

- 今後地域は地域で見て行くとのウエイトが重くなるが、核家族化でどう進められるか心配。
- 老人会も一生懸命活動しているが予算少ないのは仕方ない考える。
- 利用価値のない財産は売っちゃったほうが良い。
- 小児病院跡地は子ども利用を前提に購入したと聞いているが、明らかに示すべき。
- 二宮小学校、駅前町民会館を売って、東大跡地に小学校をつくってはどうか。
- 二宮町は待機児童0だ！ともっと情報配信できると、もっと良いアピールになる。
- 防災対策費については常に意識していることが重要。

平成28年4月24日、26日、28日開催 議会報告会

3箇所アンケート集計

参加者：59人

アンケート記入者：41名

1. お住まいはどちらですか。

一色 (11名)・緑が丘 (6名)・中里 (2名)・富士見が丘 (6名)・二宮 (2名)
山西 (8名) 二宮町外 (6名)

2. 性別・年齢を教えてください。

男性 (31名) 女性 (9名) 記入なし (1名)
年齢・30代 (2名)・40代 (4名)・60代 (20名)・70代 (13名)
80代 (1名) 記入なし (1名)

3. 何を見て参加されましたか。

① チラシ：7名 ② 掲示板：10名 ③ ホームページ：4名
④ 知人に聞いた：11名 ⑤ タウンニュース：0名 ⑥ その他：9名

4. 今回の議会報告について。

説明内容 ① 分かりやすい：11名 ② どちらとも言えない：20名 ③ 分かりにくい 8名
説明時間 ① 長い：1名 ② ちょうどよい：22名 ③ 短い：17名
資料の量 ① 多い：0名 ② 普通：22名 ③ 少ない：17名
資料の内容① 分かりやすい：9名 ② どちらともいえない：23名 ③ 分かりにくい：7名

5. 議会報告会および意見交換緩解についてご意見がありましたらご記入ください。
ましたらご記入ください。

- : 質疑応答の時間を長くする
- : 今回は盛り上がり良かったです
- : 身近なテーマ設定すれば活発な意見が出る
- : 内容が多い、分けるか長くするか
- : 質問に関する時間がムダ、せつかくの2時間をもっと有効に使いたいですね
- : 先生方からの資料が等あれば勉強できるか
- : 始まった頃より進化していると思いました
- : 意見を言う機会が有って良かった
- : とてもおもしろい報告会でした、ありがとうございます町民と議員がひざをつき合わせ
て、議論する、大事ですね
- : 松田町から参加させて頂きました。住民の意見が多様で参考になりました
- : 議会報告で何を伝えたいのかがわからなかった。意見交換会の意図 (テーマ) が良くわ

からなかった

- : 具体策が判らない意見が活発にならなかった
- : 進行役ほか議員さん方の中でもう少し手際よく進められるよう事前に打ち合わせ、資料検討していただくと良いでしょう
- : パワーポイントの資料を印刷して、出席者に配ると聞いている人が理解出来やすい
- : あまりにも参加人数が少なすぎる。なぜ
- : 本音が出たような気がする
- : テーマ別にフリートークはいろいろ多様な意見が出るので良いと思う
- : 出た意見について今後の議員活動に活用ください
- : 意見交換会の形は良いと思いました

6. 今後のテーマについてご意見・ご希望がありましたらご記入ください。

- : 一色小学校地域協議会の仕上げ心配、一年で再生メドがつかの
- : 防災、ペットの避難に向けた取り組み
- : 東大果樹園テーマ定期的に行ってすすめて欲しい
- : 魅力ある町づくりに向けてこの素晴らしい財産を活用していきましょう
- : 町全体の新規、継続等お知らせを
- : 町長でも議員でもなく役場（行政のプロ）はどんなお考えになっているのかも知りたい
- : 二宮町の活性化に意見交換会を行って町の発展を望んでいます
- : 地域の要望
- : 同じテーマを継続するのもよいでしょう学校運営協議会について
- : 今後の町の財政運用を考えると、予算案というか、町長の方針などを議会としてどう受けとめ、どう対応していくのかなどをテーマに聞きたい
- : もっと多くの人から意見を聞くべきだ
- : 参加者が少ないので参加者を増やす工夫をしてほしい

7. 議会に対してご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

- : 人数が多くあつまって良かったです
- : 議員さん方々一色小学校区再生に感心を持って頂きたい
- : 保育園、幼稚園、小中学校の場を使って、より町民が議会のこと、町づくりのことについて積極的に興味、関心を高めていくような機会があると、無関心層が少しでも減る働きかけにつながればと思っています
- : 今後も町民に情報流してください有難うございます
- : 年に何回してほしい
- : リーダとして頑張ってください

以上、原文の通り